

粒子の分散安定化メカニズムと湿潤・分散剤の実務活用

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/2504112>

◆日時: 2025年04月16日(水) 13:00~16:00

◆会場: WEBセミナー(オンライン開催)

◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: ビックケミー・ジャパン(株) シニアソリューションナビゲーター 若原 章博 氏

| | |
|---------|---|
| 【習得知識】 | <ul style="list-style-type: none"> 各種粒子の分散設計に有用な、粒子特性と分散剤の選定のアプローチ方法 分散液を塗布・乾燥する際のトラブルの防止技術 湿潤分散剤・表面調整剤・レオロジーコントロール剤の構造と特性 |
| 【講座の趣旨】 | <p>粒子の分散安定化はコーティング液や複合材料の必須技術であり、その基本的な理解は塗料・インキ・電池・接着剤を含むコーティング液やプラスチック材料の設計に有用である。ここでは分散安定化のメカニズムを見た後、分散剤・湿潤剤・湿潤分散剤の構造と特性を解説する。各粒子の特性とマトリクスを形成する樹脂系・溶媒との関係を、熱硬化・水系・UV系・エポキシ系など様々な系を例示して理解を深める。また、分散液もきちんと塗布・乾燥して初めてその性能を発揮するので、塗布性(濡れ・泡・均一性・平滑性など)の向上策についても触れる。分散の設計にかかわる方から、分散液を用いて加工をされる方、膜になったものを利用する方まで、例を交えてできる限り分かりやすく説明する予定である。</p> |
| 【プログラム】 | <ol style="list-style-type: none"> 分散安定化の基礎的な考え方のおさらい <ol style="list-style-type: none"> 1-1 粒子の濡れとマトリクス中での安定化の二つが重要 1-2 分散に関係する粒子の表面特性は 1-3 樹脂・溶媒で形成されるマトリクスの特性は 1-4 添加剤は粒子の濡れと安定化に関与 主な分散剤の構造と特性を理解する <ol style="list-style-type: none"> 2-1 分散剤を構成する要素は吸着基と相溶性鎖 2-2 低分子量タイプと高分子量タイプの湿潤分散剤 2-3 湿潤分散剤による膜物性への影響は SDGsと開発の方向は <ol style="list-style-type: none"> 3-1 再生産可能原料を用いた湿潤分散剤の開発 3-2 環境負荷をできるだけ小さく 様々な粒子・マトリクス系での分散安定化の例 <ol style="list-style-type: none"> 4-1 有機顔料・カーボン系粒子・金属酸化物・非酸化物系無機粒子の分散 4-2 水系・溶剤系・UV系での分散 4-3 熱可塑性樹脂でのフィラーの分散 塗布性を向上させるには <ol style="list-style-type: none"> 5-1 粒子の沈降を防ぐ 5-2 基材への濡れ性を上げる: 表面張力と表面調整剤 5-3 泡の問題を解決する: 消泡メカニズムと消泡剤 5-4 粘性を制御する: レオロジーの基礎とレオロジーコントロール剤 5-5 平滑性の向上と評価方法: 表面調整剤と測定機器 |

『分散安定化【WEBセミナー】』セミナー申込書

| | | | |
|-------|---|-----|--|
| 会社・大学 | | | |
| 住所 | 〒 | | |
| 電話番号 | | FAX | |

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送